

1. 適用範囲

△1 (再作成)

本指定書は、HR22コネクタの結線作業要領について規定する。

2. 作業手順

略 図

1

止めビス

コード管

ガスケット

ワッシャー

締め付け金具

ケーブル

プラグシェルブロック

フード

ジャックシェルブロック

30 mm

2.5 mm

2

雌端子

雄端子

3

プラグシェルブロック

ハウジング

ジャックシェルブロック

ハウジング

△2 芯線が柔らかい場合などは、端子が挿入しづらいことがあります。
この際は、芯線の端子に近い部分を持って端子を挿入して下さい。

作業内容

・ ケーブル端末処理
左図の寸法で端末処理をします。

・ コネクタの各部品の処理
止めビスを緩めてコネクタを分解して各部品を図の順でケーブルに通します。

・ 端子圧着
端子を芯線に圧着結線します。△2

・ 端子挿入
圧着した端子をプラグシェルブロックのハウジング（ジャックシェルブロックのハウジング）に挿入します。
挿入時はパチンという音を目安に挿入し挿入後、かるく引っ張り端子が固定したことを確認します。

△2 注意 △2

端子を挿入する際は、端子を変形させないよう、ご注意願います。
端子が変形すると、接触不良や端子抜けを引き起こす恐れがあります。

	COUNT	DESCRIPTION OF REVISIONS	DESIGNED	CHECKED	DATE
△2	7	DIS-C-00002945	TH. KAMEYA	HY. KOBAYASHI	20190220

TITLE

HR22コネクタ ハーネス作業手順書

TECHNICAL SPECIFICATION

HRSHIROSE ELECTRIC CO., LTD.

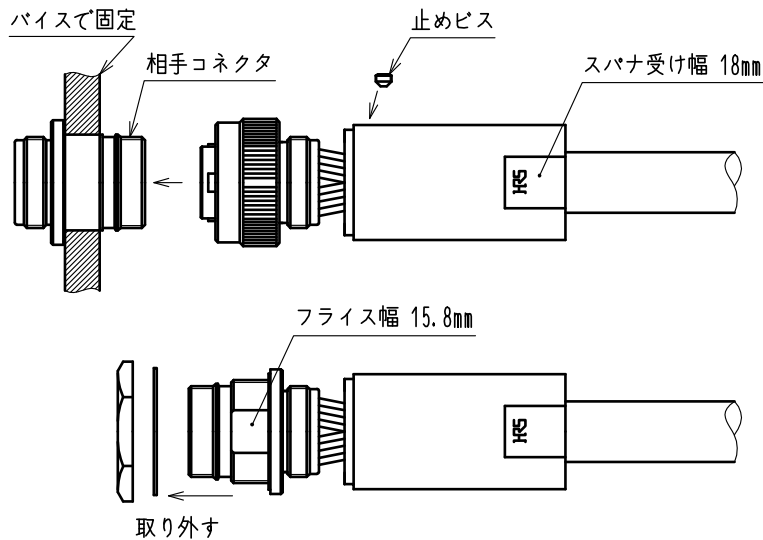
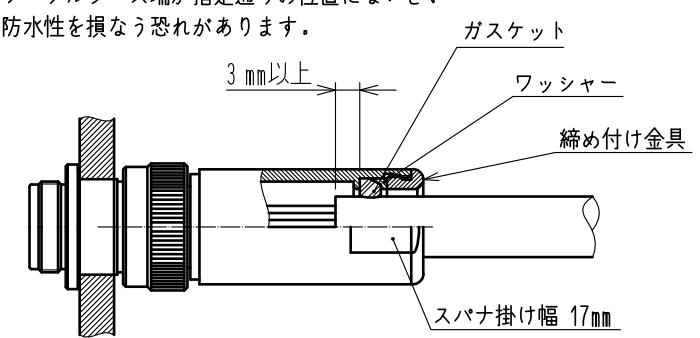
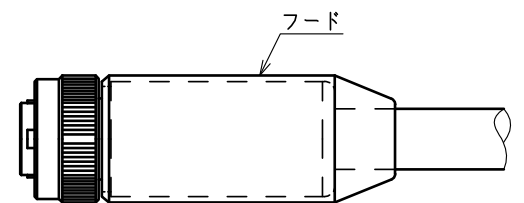
APPROVED	MR. YOSHIDA	20050105
CHECKED	MO. SATOH	20050105
CHARGED	YH. YAMADA	20050105
WRITTEN	YH. YAMADA	20050105

ATAD-C0057-00

△2

12

FORM 213-1

	略 図	作業内容
4	 注意 嵌合相手の固定は、コネクタを組立てるトルクでも動かないよう、確実に止めて下さい。 固定が十分でないと、組立作業中にコネクタが傾くなどして、コネクタの破損や、指定のトルクで締め付けができない恐れがあります。	・コネクタの組立① 端子を挿入したプラグシェルブロック（ジャックシェルブロック）にコード管を締め込みます。 推奨締め付けトルク：2～3N・m シェルブロックの固定は結線治具を使用するか（プラグ用）、相手コネクタをバイス等で固定して、これにカン合させて行ってください。ジャックはシェル本体のフライス幅を固定することが出来ます。 コード管をシェルに締め付けた後、六角穴付き止めビスを締め付けます。 推奨締め付けトルク：0.3～0.4N・m 止めビスには緩み防止としてロックタイト243または同等品の塗布を推奨します。
5	 注意 ケーブルシース端が指定通りの位置にないと、防水性を損なう恐れがあります。 注意 ケーブルの硬さにより、締め付け金具とコード管の間に、隙間が見える場合がありますが、それ以上は締め付けないようご注意ください。 無理に隙間がなくなるまで締め付けると、破損や防水性能の劣化を生じる恐れがあります。	・コネクタの組立② コード管にケーブルを挿入してガスケット、ワッシャーを組み込みます。 このとき、ケーブル固定力を保つ為、左図のとおり、ケーブルシースの寸法（3mm以上）を保つようにして下さい。 ガスケット、ワッシャーを組み込んだ後締め付け金具を締め込みます。 推奨締め付けトルク：2～3N・m 尚、締め付け金具の締め込みの際は、ケーブルと一緒に回転して芯線が内部でねじれて断線しないようにケーブルを押えてください。
6		・フードを被せます。